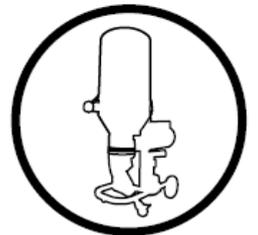




取扱説明書
DC 5500



Japanese

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください。

シンボルマークの意味

本機のシンボルマーク

本機の不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業員や周囲の人に重傷・死亡事故を発生させるおそれがあります。



本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。



個人用の保護具を着用してください。「個人用保護具」の項に記載されている指示事項を参照してください。



警告！ 研磨作業時に発生する粉塵を吸いこむと、人体への傷害が発生することがあります。作業時には、呼吸マスク(認可を受けているもの)を着用してください。また、常に十分な換気を行ってください。



この製品はEC規格適合製品です。



環境マークについて：本機および本機の梱包材に右図のようなマークが描かれている場合は、本機を一般廃棄物として取り扱うことはできません。



本機を不適切に廃棄すると、環境や人体に悪影響を及ぼす可能性があります。本機を正しい方法で廃棄処理することによって、このような悪影響を防止することができます。

本機のリサイクルについての詳細は、地方自治体や廃棄物処理サービス、または本機の購入店にお問い合わせください。

本機に付いているその他のシンボルマークやステッカーは、当該地域の基準に対応したものです。

警告レベルの説明

本書での警告は、次の3段階に分けられます。

警告！



警告！ 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が重傷を負ったり、死亡したりするか、あるいは周辺環境に損害を与えるおそれがあることを意味します。

注意！



注意！ 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が怪我をしたり、あるいは周辺環境に損害を与えるおそれがあることを意味します。

告知！

取扱説明書の指示に従わない場合、物体や本機に損害を与えるおそれがあることを意味します。

目次

目次

シンボルマークの意味

本機のシンボルマーク.....2

警告レベルの説明.....2

目次

目次.....3

概要

お客様へ.....4

特長.....4

本機の構成.....5

本機の組立・調整

構成装置の組付.....6

本機の操作

保護具.....7

作業の安全について.....8

搬送と保管.....9

始動と停止

始動前に.....10

始動.....10

停止.....10

メンテナンス

概要.....11

日常のメンテナンス.....11

一次フィルターの清掃について.....11

ダストバッグの交換.....11

一次フィルターの交換.....11

二次フィルターの清掃・交換.....13

修理.....13

トラブルシューティング

トラブルシューティング.....14

メンテナンスのスケジュール.....15

テクニカルデータ

テクニカルデータ.....16

EC 適合宣言.....17

概要

お客様へ

ハスクバーナの製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

この製品にご満足いただき、未永くご愛顧いただけることを願っております。当社の製品をご購入いただいたお客様は、専門的な修理・点検を受けることができます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄の修理代理店の所在地をお問い合わせください。

本書は有用な文書ですので、作業環境内の手近な場所に必ず保管しておいてください。本書の記載内容(使用方法、点検修理、メンテナンスなど)に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高めることができます。本機を売却する際には、本書も購入者にお渡しするようにお願いいたします。

300年以上におよぶイノベーション

スウェーデン企業であるハスクバーナの歴史は、1689年にスウェーデン王のカール11世がマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じたことから始まります。猟銃、自転車、オートバイ、国産機械、マシン、アウトドア製品など、世界トップレベルの製品を生むための技術は、この時点で礎がすでに築かれていたのです。

ハスクバーナは、森林、公園、芝生、庭園の管理向けアウトドアパワープロダクト、および建設・石材産業向け切削装置・ダイヤモンド工具などの世界的リーダー企業です。

使用者の責任について

本機を安全に使用するための十分な知識を使用者に与えることは、本機所有者あるいは雇用者の責任です。また、監督者と使用者は、取扱説明書を読んで内容を理解する必要があります。監督者と使用者は、下記について確認しておく必要があります。

- 本機の安全に関する指示事項。
- 本機の用途や制限事項。
- 本機の使用方法和メンテナンス方法。

本機の使用については、使用地域の法令による規制を受ける場合があります。本機の使用を開始する前に、作業場所に該当する法令について確認を取ってください。

メーカー側の制限事項

この取扱説明書の情報およびデータは、本書の印刷時に有効であったものです。

ハスクバーナでは継続的に製品の開発を行っているため、仕様や外見などを予告なく変更することがあります。

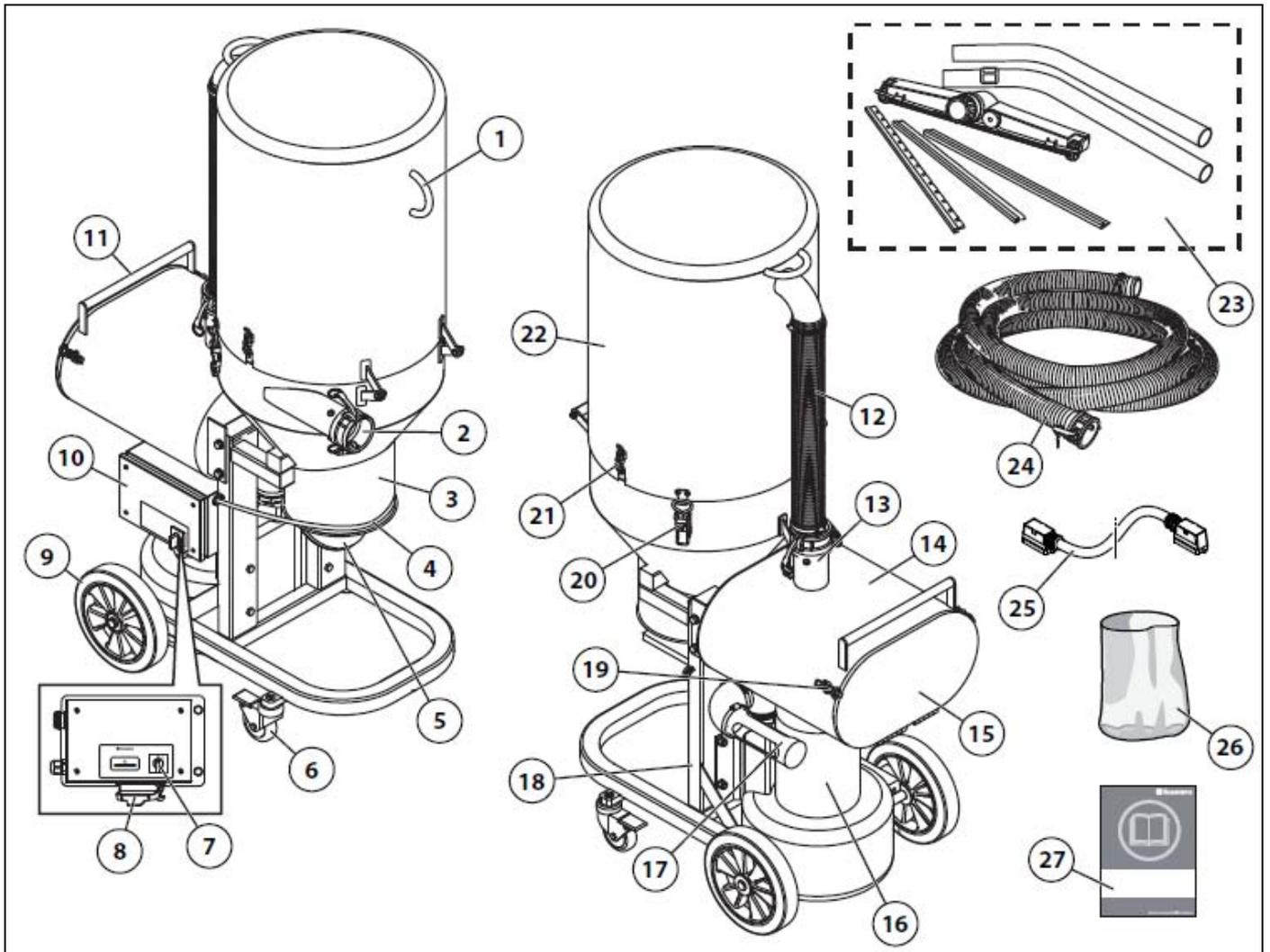
特長

ハスクバーナの製品は、高性能、信頼性、革新的テクノロジー、先進的な技術ソリューション、環境への対応などの様々な特長により、他社と一線を画しています。

- 以下に、本機ならではの特長を示します。
- 集塵効率を高める3ウェイフィルターシステム
- 1ミクロンあたり99.9%の微粒子ろ過率
- 厄介な有害性物質を処分するための独自の廃棄処理システム

- バキュームポンプや電子装置を保護する、内蔵式の位相補正機能
- ハスクバーナPG680/PG820用の電源ソケット
- 75mm径ホース吸気口
- 洗浄可能なポリエステルフィルター
- コンパクトに折りたたむため、車での運搬が可能
- 点検整備が簡単
- 鋳造アルミニウム製の頑丈なホースカップリング

目次



本機の構成

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| 1 ハンドル(サイロ) | 15 二次フィルターハウジングドア |
| 2 バキュームホース吸気口 | 16 バキュームポンプ/モーター |
| 3 集塵コーン | 17 排気管 |
| 4 ゴムストラップ | 18 シャーシ/フレーム |
| 5 ダストストラップ | 19 トグルラッチ(二次フィルター) |
| 6 キャスターホイール | 20 トグルラッチ(一次フィルターハウジング) |
| 7 オン/オフスイッチ | 21 トグルラッチ(一次フィルター) |
| 8 電源ソケット | 22 サイロ/一次フィルターハウジング |
| 9 リアホイール | 23 フロアツール付きバキュームワンド |
| 10 コントロールボックス | 24 10mホース2本(3インチ径1本、2インチ径1本) |
| 11 リアハンドル | 25 延長ケーブル |
| 12 フィルターリンクホース | 26 ダストバッグ(200) |
| 13 フィルターリンクホースカップリング | 27 取扱説明書 |
| 14 二次フィルターハウジング | |

本機の組立・調整

構成装置の組付

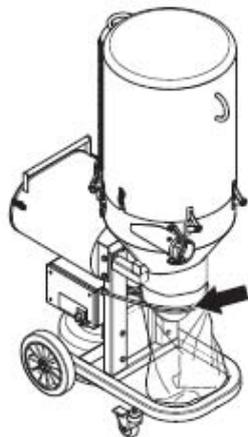
組付の原則

告知！ 本機を電源に接続する前に、本機のオン/オフスイッチがオフの位置にあることを確認してください。

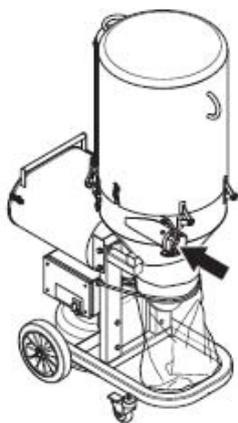
- 本機は、アース線コンセントと接続するようにしてください。

ドライ研磨時

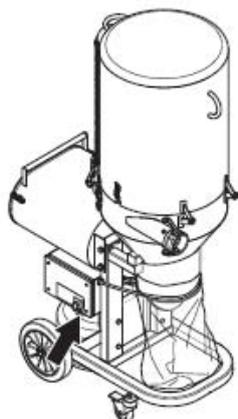
- 集塵コーンにダストバッグを装着します。



- グラインダーのホースを、本機のバキュームホース吸気口に接続します。



- グラインダーの電源プラグを、本機の電源ソケットに接続します。



- 本機の電源プラグをコンセントに接続します。

ウェット研磨時

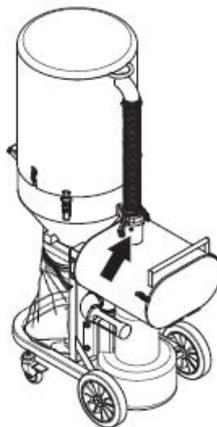


注意！ 本機から一次フィルターソックスを外す際には、マスクなどの呼吸用保護具を着用することを強く推奨します。

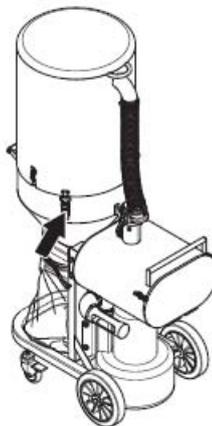
ハスクバーナDC5500 は、ウェット研磨作業で発生したスラリーなどの湿潤物質も回収することができます。

単に一次フィルターのソックスを外すだけで、湿潤物質を回収できるようになります。

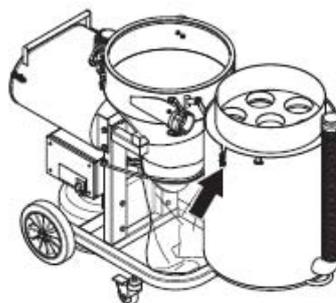
- フィルターリンクホースカップリングを外します。



- 一次フィルターハウジングのトグルラッチを解放し、サイロを折りたたみます。



- 一次フィルターのトグルラッチを解放します。



- 一次フィルターを引き抜きます。

本機の操作

保護具

概要

万一事故が発生した場合に助けを求められない状況では、本機を使用しないでください。

個人用保護具

本機を使用する際は、認可済の身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択にあたっては、販売代理店にご相談ください。



警告！ 材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、成形を行うと、有害な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が発生することがあります。加工する材料の性質を確認し、適切な呼吸マスクを使用してください。



警告！ 長時間騒音にさらされると、恒久的な聴覚障害が発生することがあります。本機を使用する際は、認可されているイヤマフを必ず着用してください。イヤマフを着用している間は警告信号や叫び声を聞き逃さないように注意し、エンジンが停止したらすぐにイヤマフを外すようにしてください。



警告！ 可動部品を内蔵している装置を取り扱っているときには、常に怪我の危険が伴います。人身事故を防ぐためにも、保護手袋を必ず着用してください。

常に下記のものを着用してください。

防護ヘルメット

- イヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー
- 呼吸マスク
- 耐久性が高く、グリップが確実な保護手袋
- 身体にフィットし、身体の動きを制限することのない、丈夫で快適な服装
- つま先にスチールキャップの入った、ノンスリップタイプの安全ブーツ

衣服や装飾具、および長髪は、可動部品に絡まる可能性がありますのでご注意ください。

その他の保護具



警告！ 本機の作業中に、火花による発火が発生することがあります。常に消火用の器具を用意しておいてください。

- 消火用の器具。
- 救急箱(常に身近な場所に備えておくこと)。

主な安全対策



警告！ 安全上の警告事項や指示事項は、すべてお読みください。これを怠ると、感電や発火などによる深刻な傷害事故が発生するおそれがあります。

この項では、本機の使用に関する基本的な安全対策について説明します。ただし、以下の内容は、専門家の技術や経験に代わるものではありません。

- 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を確実に理解してください。**警告に関する指示書や手順書は、後で参照できるようにすべて保管しておいてください。**
- 本機の使用するには、他者の身体や財産を事故や危険に巻き込まないようにする責任があることを覚えておいてください。
- 本機の使用は全員、本機を使用するためのトレーニングを受ける必要があります。また本機の所有者には、使用者にトレーニングを受けさせる義務があります。
- 本機は常に清潔にしてください。本機上の表示やステッカーは、確実に読める状態になければなりません。



警告！ 本機の不注意な取扱いや誤った取扱いは、作業や周囲の人などに重傷・死亡事故を発生させるおそれがあります。

子供、および本機の取扱いに不慣れな人には、本機を使用させないでください。また、この取扱説明書の内容を理解していないと思われる人には、決して本機の使用を許可しないでください。

疲労時や飲酒後、および視野・集中力・挙動・判断力に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。

電気機器は、常に感電の危険性をはらんでいます。避雷針や金属物には絶対に触れないでください。また、天候が不安定な場合には、本機の使用を控えてください。故障を防ぐためにも、本書の指示には必ず従ってください。



警告！ 許可なく本機を改造したり、未認可の付属品を使用したりすると、使用者や周囲の人に重傷事故や死亡事故が発生するおそれがあります。

本機を改造したり、改造の疑いがある製品を使用しないでください。

本機に不具合がある場合は、絶対に使用しないでください。点検・整備・修理は、本書に記載されているとおりに実施してください。

メンテナンスや修理・整備の中には、トレーニングを受けた適格な技術者しか行えないものもあります。詳細は、「メンテナンス」の項を参照してください。

本機の部品は、必ず純正品をお使いください。

本機の操作

いつも常識のある取扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識を働かせて本機を操作してください。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、販売代理店や修理代理店や熟練ユーザーに相談してください。よく理解できていない状態では、絶対に作業を行わないでください。

作業の安全について

作業領域の保全

- 気象条件の悪いときは(濃霧、豪雨、強風、厳寒時など)、本機を使用しないでください。
- 作業領域は常に清潔に保ち、視界を明るく保ってください。作業領域が散らかっていたり暗かったりすると、事故の原因となります。
- 発火や爆発を引き起こすおそれのある場所では、本機を使用しないでください。

電気の保全



警告！ 電気機器は、常に感電の危険性をはらんでいます。避雷針や金属物には絶対に触れないでください。また、天候が不安定な場合には、本機の使用を控えてください。故障を防ぐためにも、本書の指示には必ず従ってください。

プラグやコードが破損している場合は、本機を電源に接続しないでください。

- 電源の電圧が、本機の定格プレートに記載された電圧と一致することを確認してください。
- 点検や整備の前には、モーターのスイッチを切り、プラグを外してください。
- 必ず本機の電源スイッチをオフにしてから、電源プラグを外してください。
- 作業を長期間行わない場合は、本機の電源プラグを外してください。
- コードを使ってマシンを引きずったり、コードを引っ張ってプラグを抜いたりしないでください。電源コードを抜く際には、必ずプラグを持って行ってください。
- コードやプラグが損傷している場合は、本機を絶対に使用せず、正規修理店へ修理を依頼してください。
- 本機の構成機器を水に濡らさないでください。故障の原因となるだけでなく、漏電によって人身事故が発生するおそれもあります。

アースについて



警告！ 不適切な配線接続は、感電の原因となります。電気器具が正しくアースされているか疑わしい場合は、適格な電気技術者にお問い合わせください。

電源プラグは絶対に改造しないでください。プラグがコンセントにうまく入らない場合は、適格な電気技術者に適正なコンセントを設置するよう依頼してください。また、当該地域の法令や条例に準拠しているかどうかも確認してください。

アースの方法を完全に理解しているか疑わしい場合は、適格な電気技術者に連絡してください。

延長コード・ケーブル

- 延長ケーブルに記載されている仕様値は、本機の銘板の値と同じか、それを上回らなければなりません。
- 延長ケーブルは、アース付きのものを使用してください。
- 本機を屋外で使用する場合は、屋外使用に適した延長コードをご使用ください。屋外での使用に適したコードを使用することにより、感電の危険性が低減します。
- 延長コードの接続箇所について、水分が付着していないこと、および地面に接していないことを確認します。
- ケーブルは、熱、油分、鋭利な箇所、可動部品などに近づけないでください。損傷やもつれがあるケーブルは、感電の危険性を高めます。
- ケーブルに損傷がなく、良好な状態であることを確認します。コードやプラグが損傷している場合は、本機を絶対に使用せず、正規修理店へ修理を依頼してください。
- 過熱を防ぐため、延長コードは巻かれている状態で使用しないでください。
- コードの損傷を避けるために、本機の使用を開始する際には、コードが使用者の後ろにあることを確認してください。

個人の保全

- 個人用の保護具を着用してください。「個人用保護具」の項に記載されている指示事項を参照してください。
- 疲労時や飲酒後、および視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。
- この取扱説明書の内容を理解していないと思われる人には、決して本機の使用を許可しないでください。
- 本機の使用は全員、本機を使用するためのトレーニングを受ける必要があります。また本機の所有者には、使用者にトレーニングを受けさせる義務があります。
- 人や動物が使用者のそばにいたり、使用者の気が散って操作ミスを起こすおそれがあります。このため、常に作業に集中するようにしてください。また、子供に本機を使わせたり、子供を本機に近づけたりしてはなりません。
- 衣服や装飾具、および長髪は、可動部品に絡まる可能性がありますのでご注意ください。
- 可動部品を内蔵している装置を取り扱っているときには、常に怪我の危険が伴います。必ず距離を置いてください。

本機の操作

- 本機の使用時には、別の人がいつも使用者のそばにいますようにしてください。こうすれば、万一事故が発生しても助けを求めることができます。
- モーターの回転中は、本機を無人の状態にしないでください。作業を長期間行わない場合は、本機の電源プラグを外してください。
- 本機が不意に始動するのを防ぐため、スイッチをオフ位置に入れておいてください。
- 工具などが本機の上に乗っていないことを確認してください。
- 必ず安全かつ安定した足場で本機を使用してください。

使用上の注意

- ハスクバーナDC5500は、コンクリートダストや液体スラリーなどの吸引装置として開発された、乾湿両用集塵機です。
- 本機は、熟練した作業担当者が工業用途で使用するための装置です。
- 点検や整備の前には、モーターのスイッチを切り、プラグを外してください。
- すべての部品が良好に動作し、付属品が適切に固定されていることを確認します。
- 本機は、必ずダストバッグを取り付けてから、始動してください。

搬送と保管

- 本機の使用時および搬送時には、本機にダストバッグを装着したままにしておくことを強く推奨します。
- 本機を持ち上げる際は、必ずホイストやフォークリフトなどの機械装置を使用してください。
- 本機を持ち上げる際には、ハンドル、モーター、シャーシなどの部品をつかんではいけません。本機の搬送は、パレットやスキッドに本機をしっかりと固定した状態で行うのが最適な方法です。
- 搬送中に破損や事故が発生するのを防ぐため、必ず本機を固定して搬送してください。
- 本機はできる限り、特に雨や雪などの自然条件から保護するためのカバーをかけて、搬送するようにしてください。本機はなるべく直立状態にして搬送してください。
- 子供や許可を受けていない人が触れることのないように、本機は鍵のかかる場所に保管してください。
- 本機とその部品は、凍結の心配がない乾燥した場所で保管してください。

始動前に



警告！ 本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

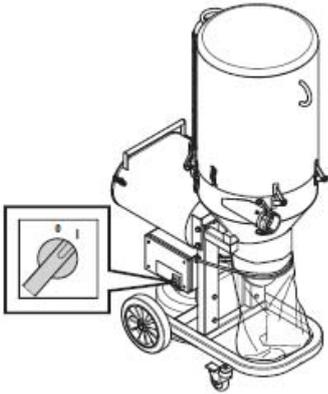
個人用の保護具を着用してください。「個人用保護具」の項に記載されている指示事項を参照してください。

作業領域内に許可のない人が立ち入っていないか確認してください。これを怠ると、重傷事故が発生するおそれがあります。

- 本機が正しく組み付けられていること、ならびに破損や故障の兆候がないことを確認してください（「本機の組立・調整」を参照）。
- 日常のメンテナンスを実施してください（「メンテナンス」を参照）。

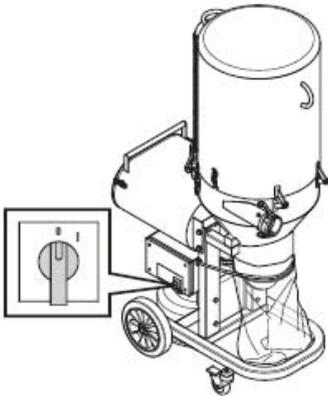
始動

- 本機を作業場所に移動します。
- 集塵コーンにダストバッグが装着していることを確認します。
- スイッチをオン位置 (I) に入れます。



停止

- スイッチをオフ位置 (O) に入れます。



メンテナンス

概要



警告！ 使用者は、この取扱説明書に記載されているメンテナンス・点検修理だけを実施してください。それ以外のメンテナンス・点検修理は、必ず正規修理店に依頼してください。

メンテナンスの際には、本機の電源コードをコンセントから外し、本機のスイッチもオフにしてください。

個人用の保護具を着用してください。「個人用保護具」の項に記載されている指示事項を参照してください。ダストバッグの交換や本機のメンテナンスの際には、マスクなどの呼吸用保護具を着用することを強く推奨します。

本機を正しくメンテナンスしなかったり、点検整備や修理を専門技術者に依頼しなかったりすると、本機の寿命が縮まり、さらに事故の発生確率も増します。詳しくは、お近くの修理代理店にお問い合わせください。

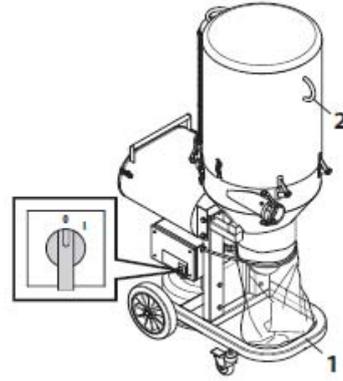
日常のメンテナンス

- 本機の安全装置が損傷していないか確認します。
- コードや延長コードに損傷がなく、良好な状態であることを確認します。
- 本機の外面を清掃します。
- 日常的に、二次フィルターハウジング内部の埃の溜まり具合を点検することを推奨します。日常点検で二次フィルターハウジング内に埃が溜まっていることが確認された場合は、すべての一次フィルターを取り外して小さい穴の存在を調べてください。
穴は通常、フィルター媒体の縫い目の付近から開き始めます。穴の存在が確認された場合は、圧縮空気かバキュームを使って穴の周辺を掃除してから、シリコンシーラントで穴の補修を行います。
穴の存在が認められなかった場合は、一次フィルターハウジングのゴムシールが完全に密閉していることを確認してください。

一次フィルターの清掃について

本機の作動を開始してから10～20分ほど経過すると、フィルターソックスの内側に埃がたまりやすくなります。このため、一次フィルターを清掃する必要があります。
グラインダー背後の地面に埃がみられる場合は、フィルターソックス内に埃がたまっています。

- 本機のオン/オフスイッチをオフの位置に入れます。



- 本機が全く吸引を行わなくなった場合は、フロントプレート(1)に足を据えながらハンドル(2)を持って、本機を前後に軽く揺すってください。こうすることで、集塵コーンに装着されたダストバッグの中に、一次フィルター内部の埃が落下します。

ダストバッグの交換

ダストバッグに20kg程度の埃が溜まったら、ダストバッグを交換してください。ダストバッグの重量が許容量を超えると、不具合が発生するおそれがあります。

- 一次フィルターを清掃します。「一次フィルターの清掃について」の項を参照してください。
- ダストフラップを閉じた状態で、本機のオン/オフスイッチをオンの位置に入れます(このときに、ダストバッグ内の空気が吸引されます)。
- 集塵コーンのすぐ下の箇所で、ダストバッグをケーブルタイなどで縛ります。
- ゴムストラップを外し、ダストバッグを取り外します。



重要！ ゴムストラップの脱着は、慎重に行なってください。

- ゴムストラップを使って、新しいダストバッグを装着します(このときに、ダストバッグ内の空気が吸引されます)。
- これで、本機での集塵作業を再開できるようになります。



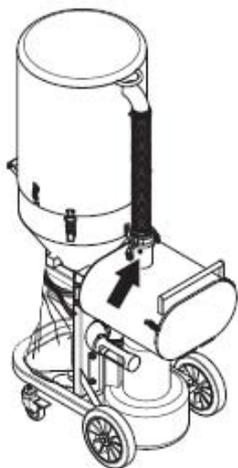
重要！ ダストバッグの交換中は、必ずバキュームを継続してください。バキュームを続けることで、集塵コーン内のバルブが閉じたままになるため、ダストバッグ交換の際に集塵コーン内の埃が落下することはありません。

一次フィルターの交換

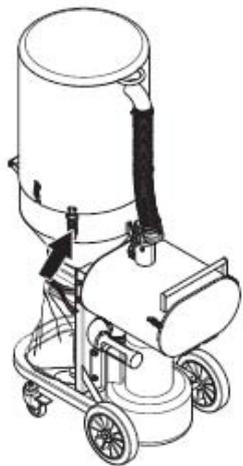
本機を頻繁に使用している場合は、一次フィルターを約6カ月ごとに交換します。定期的なフィルター交換を行うことで、高い吸引力を維持でき、フィルターに穴が開く可能性も低下します。

メンテナンス

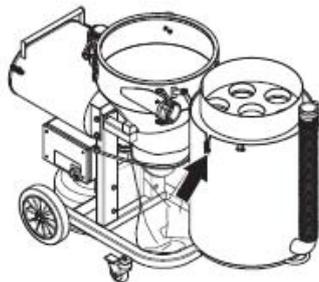
- フィルターリンクホースカプリングを外します。



- 一次フィルターハウジングのトグルラッチを解放し、サイロを折りたたみます。



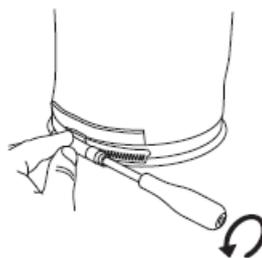
- 一次フィルターのトグルラッチを解放します。



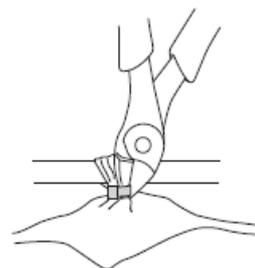
- 一次フィルターを引き抜きます。



- 8mmソケットレンチまたはスクレュードライバーで、各フィルターソックスのベース部にあるホースクランプネジを緩めます。



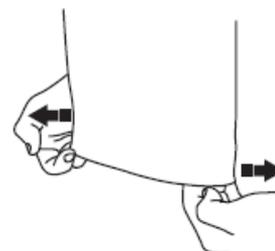
- ホースクランプ管からフィルターソックスを外します。このときに、ホースクランプとクランプの裏地ゴムリングに注意してください。
- ワイヤークッターで、ケーブルタイを取り外します。



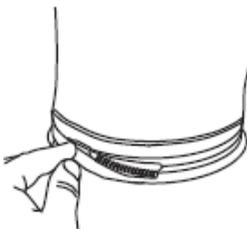
- 古いフィルターソックスを廃棄します。

新しいフィルターソックスの取付

- フィルターソックスの開口部を広げたまま、ホースクランプ管の上にかぶせます。



- フィルターソックスにクランプの裏地ゴムリングを装着してから、クランプを取り付けます。このときに、裏地ゴムリングの中央部にクランプ全体を確実に取り付けてください。



メンテナンス

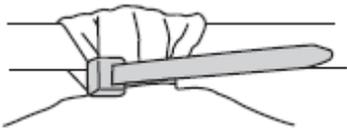
- 8mmソケットレンチで、クランプ管の末端から半分の箇所までホースクランプを締め付けます。すると、クランプ管の下側からフィルターソックスの一部が見えるようになります。



- フィルターソックスのループにケーブルタイを取り付けてから、ラックの周りにループをかぶせます。



- ループの周りにケーブルタイを巻き付けてから、ケーブルタイを締めます。



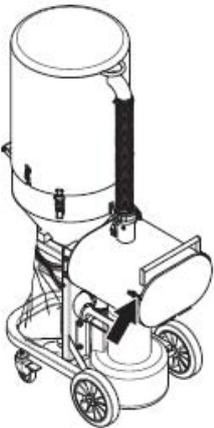
- 一次フィルターをサイロ内に装着し、各部品を逆の順序で組み付けます。

二次フィルターの清掃・交換

二次フィルターはポリエステル製のため、水洗いすることが可能です。二次フィルターは、1年ごとに交換してください。

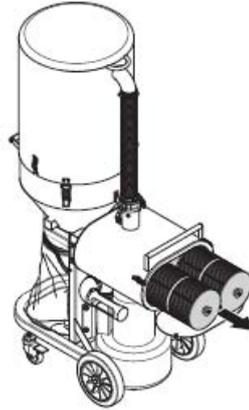
告知！ バキュームポンプ/モーターの故障を防ぐため、二次フィルターは完全に乾燥させてから再取付を行ってください。

- 二次フィルターのトグルラッチを解放し、二次フィルターハウジングドアを開けます。



- 13mmスパナでフィルターのナットを外します。ナットには、大きめのワッシャーとシリコンワッシャーが付いていますのでご注意ください。

- フィルターを引き抜き、洗浄・乾燥を行います(または、新しいフィルターを装着します)。



- 各部品を逆の順序で組み付けます。

再装着時には、二次フィルターのシールが、二次フィルターハウジングのウォール部にぴったりと密着していることも確認してください。これは、フィルターリンクホースカップリングをのぞき込むことで確認できます。

ウェット研磨で使用したフィルターは、新品に交換するか、次の作業までに完全に乾燥させる必要があります。

修理

重要！ 使用者を危険にさらさないためにも、すべての修理は適格な修理作業員に依頼してください。

トラブルシューティング

トラブルシューティング



警告！ 本機にまつわる事故の多くは、トラブルシューティング、サービス、メンテナンスの実施中に発生しています。この原因は、作業員が本機の危険エリア内で作業を行わなければならないことにあります。事故を防ぐため、作業の計画と準備をしっかりと行ったうえで、慎重に本機を操作してください。

本章で特に指示のない限り、トラブルシューティング中は本機の電源をオフにしておいてください。

電気装置の点検は、必ず適格な電気技術者が行うようにしてください。

| 問題 | 考えられる原因 | 対策 |
|---------------------------------|---|--|
| 本機が作動しない。 | 本機に電源が供給されていないか、本機のスイッチがオフになっている。 | 電源コードが接続されていること、および本機のスイッチがオンになっていることを確認する。 |
| | | 左上部のコンタクターに電源が来ているかどうかについて、適格な電気技術者に調査を依頼する。コンタクターに電源が存在しない場合は、電源の供給元で電源の有無を調べる。 |
| | ケーブルの損傷。 | 適格な電気技術者に問い合わせる。 |
| 本機が電源投入時に「ブーン」という低音を発する。 | 3相電源のうちの1相が欠相している。モーターの焼損を防ぐため、直ちに本機をオフにすること。 | 適格な電気技術者に問い合わせる。 |
| | モーターのインペラーに埃がたまっている。 | 適格な電気技術者に問い合わせる。 |
| | モーターが焼損している。 | サービス代理店に問い合わせる。 |
| 本機の作動方向が切り替わらない。 | 作動方向スイッチの不具合。 | 適格な電気技術者に問い合わせる。 |
| | コンタクターの不具合。 | 適格な電気技術者に問い合わせる。 |
| 別の電源ソケットを使用すると、本機が吸引せずに中身を吐き出す。 | 位相リレーの不具合。またはコンタクターの不具合(1つのコンタクターしか機能していない)。 | 本機の電源コードを抜いてから、適格な技術者に次の作業を依頼する。 ・モーターのL1とL3の交換。 ・吸引状態のテストと位相リレーの異常確認。 |
| 本機は作動するが、補助電源ソケットに電源が供給されていない。 | 装置が正しく接続されていない。 | 装置が正しく接続されており、適切に電源が供給されていることを確認する(グラインダーのブレーカーや緊急停止スイッチが正しい位置にセットされているか等)。 |
| | 補助電源ソケットに電源が供給されていない。 | 適格な電気技術者に問い合わせる。 |
| 本機の吸引力が弱い。 | 二次フィルターに埃が詰まっている。 | フィルターを清掃(または交換)する。 |
| | ダストフラップが正しく密閉されていない。 | ダストフラップが集塵コーンの底部をしっかり密閉するよう調整する。ダストフラップが正しく機能しないと、フィルターが目詰まりを起こすことになる。 |
| 本機の排気口から埃が吐き出される。 | 二次フィルターが正しく取り付けられていない。 | フィルターが正しく装着していることを確かめる。 |
| | 二次フィルターが交換要の状態になっている。 | フィルターを交換する。* |
| | いずれかの一次フィルターが緩んでいる。 | フィルターが正しく装着していることを確かめる。 |
| | 一次フィルターに小さい穴が開いている。 | 穴が小さければ、シリコンシーラントを塗布して修理することが可能。 |

*二次フィルターハウジングに大量の埃が存在する場合は、一次フィルターに何らかの問題が発生しています。

トラブルシューティング

メンテナンスのスケジュール

| 作業対象 | 点検項目 | 手順 | 作業頻度 |
|--------------|---------------------------------|---|-------|
| マイクロフィルターの点検 | フィルターソックスと二次フィルターの間における埃の溜まり具合。 | 一次フィルターに小さい穴が開いていないか調べる。 圧縮空気やバキュームでフィルターを清掃してから、シリコンシーラントでフィルターを修理する。 一次フィルターのシールの組付具合を確認する。 | 毎日 |
| 一次フィルターソックス | | フィルターソックスは定期的に交換する。 | 6ヶ月ごと |
| 二次フィルター | | 二次フィルターは水洗いが可能。 再装着時には、フィルターが乾いていることを確かめる。また、バキュームモーター固定プレートにシールが密着しているかどうかを確認する。 | 1年ごと |

テクニカルデータ

テクニカルデータ

| | DC 5500、400V | DC 5500、230V |
|-------------------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 出力(kW/hp) | 5.5/7.4 | 5.5/7.4 |
| 電圧(V) | 380~480 | 220~240 |
| アンペア数(A) | 14 | 27 |
| 位相 | 3相 | 3相 |
| 空気流量(m ³ /h / cfm) | 580/350 | 580/350 |
| 最大バキューム(bar/psi) | 0.3~0.02 | 0.3~0.02 |
| 吸込口の直径(mm/インチ) | 75/3 | 75/3 |
| | | |
| 一次フィルター表面積(m ² / 平方フィート) | 2.25/25 | 2.25/25 |
| 一次フィルター表面積(m ² / 平方フィート) | 6.6/71,5 | 6.6/71,5 |
| | | |
| 重量(kg/lbs) | 215/474 | 226/498 |
| 全長 x 全幅 x 全高(mm/インチ) | 1100x660x1960 / 43x26x77 | 1100x660x1960 / 43x26x77 |
| | | |
| 騒音放射(「注1」を参照) | | |
| 音響出力レベル、計測値 [dB(A)] | 92 | |
| 音響出力レベル、保証値 [LWA dB(A)] | 93 | |
| 音響レベル(「注2」を参照) | | |
| 使用者の耳元での音圧レベル [dB(A)] | 77 | |

注1: EN 60335-2-69規格に準拠した音響出力(LWA)として測定が行われる環境における騒音放射。

注2: EN 60335-2-69規格に準拠する騒音圧力レベル。騒音圧力レベルに関して報告されたデータには、1.0 dB(A)の標準的な統計的ばらつき(標準偏差)が含まれます。

EC 適合宣言

(ヨーロッパのみに適用)

Husqvarna AB (所在地: SE-433 81 Göteborg, Sweden、電話: +46-31-949000) は、2010年以降のシリアル番号(製造年は、銘板上でシリアル番号の直後に明記)を有する**ハスクバーナ DC5500**集塵機が、EU評議会指令(COUNCIL'S DIRECTIVES)の規定に適合していることを、単独責任のもとで宣言します。

- 2006年5月17日付「機械類に関する」**2006/42/EC**。
- 2004年12月15日付「電磁波適合性に関する」**2004/108/EC**。
- 2006年12月12日付「電気機器類に関する」**2006/95/EC**。

また、EN ISO 12100:2003、EN 55014-1:2006、EN 55014-2/A1:2001、EN 61000-3-2:2006、EN 61000-3-3/A1/A2:2005、EN 13862/A1:2009の標準規格にも適合しています。

2009年12月29日、Göteborgにて



Henric Andersson

ヴァイス・プレジデント、パワーカッター・コンストラクション装置部長

Husqvarna AB

(Husqvarna AB正式代表者、およびテクニカル・ドキュメンテーション責任者)



www.husqvarnacp.com

1154478-30

取扱説明書 (オリジナル)

2009-12-29